

# 国立西洋美術館を世界遺産に！！

## 「ル・コルビュジエの建築と都市計画」

The Architectural and Urban Work of Le Corbusier



【発行】 2009(平成21年)年10月 台東区世界遺産登録推進室 Tel.03-5246-1111

## 国立西洋美術館の建設と建築家ル・コルビュジエ

### 国立西洋美術館が建設されるまで

#### ① なぜ国立西洋美術館を建設することになったのか？



フランスから返還される松方コレクションを展覧するために新美術館として建設された。

1952年 日仏政府間で松方コレクションの返還交渉開始  
1953年 日仏文化協定調印  
コレクション受入れのため、美術館設置の検討・準備

川崎造船所社長の松方幸次郎が、20世紀初め、ヨーロッパで多くの美術品を収集した。そのコレクションは、戦後、フランス政府により敵国資産として差し押さえられた。日仏交渉の結果、松方コレクションが日本に返還されることになり、その際の返還条件として、国立西洋美術館が建設されることになった。

#### ② なぜ上野公園内に建設することになったのか？



ルーブル美術館のサール館長の意見などフランスの意向を踏まえて決定した。

1954年 ルーブル美術館のサール館長来日  
建設地として上野公園内寛永寺凌雲院跡地を候補として、関係機関との調整を進める

サール館長は、「ルーブル美術展」準備のために来日した際、美術館建設のための十分な予算をとること、建物としてだけでなく組織としても独立し、新設であること、場所は東京で「上野がよい」とする意見を述べた。

#### ③ 設計者にル・コルビュジエが選ばれた理由は？



はっきりしたことは不明。フランス政府への配慮、コルビュジエの日本人の弟子の存在などが考えられる。

1954年 前川國男がル・コルビュジエへ書簡で設計依頼を打診  
1955年 ル・コルビュジエを美術館設計者として決定。また、日本人協力者に、前川、坂倉、吉阪の3名を決定  
同年11月2日 ル・コルビュジエ来日(8日間滞在)。建設用地等を視察する。滞在中、鎌倉、京都、奈良へも訪問  
1957年 ル・コルビュジエより基本設計図(9枚)が送付される。



©国立西洋美術館

ル・コルビュジエによる基本設計原案は、美術館の他に、企画展用のパビリオンと音楽や演劇用のホールを含む全体計画でした。日本政府は、建設用地、建設予算の関係で、ル・コルビュジエの全体計画を修正して、実施設計を行いました。

- ④ 1958年3月21日 国立西洋美術館建設工事開始  
1959年5月29日 完成  
6月10日 開館

# 国立西洋美術館を設計した ル・コルビュジエとは、どんな人??



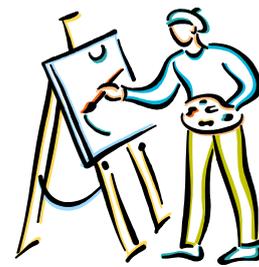
## プロフィール

ル・コルビュジエ (Le Corbusier、1887年-1965年)

本名：シャルル・エドゥアール・ジャンヌレ (Charles Edouard Janneret)

☆ フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエと共に  
近代建築の3大巨匠と称されている。

- ・ 1887年10月6日、スイスのラ・ショー・ド・フォンに生まれる（のちにフランス国籍取得）。
- ・ 時計の文字盤職人である父エドゥアールの家業を継ぐため、懐中時計の彫金工を目指し、装飾美術学校に入学する。在学中、建築家ルネ・シャパラと協働で「ファレ邸」の設計を手がける。以降、鉄筋コンクリート建築の先駆者であるオーギュスト・ペレなどの事務所にて建築を学ぶ。
- ・ ドミノシステムの考案(※1)、「新しい建築のための5つの要点(近代建築の5原則)」(※2)、モデュロール(※3)など、近代建築に非常に大きな功績を残した。
- ・ 建築家として活動する一方、画家、家具の設計、雑誌「レスプリ・ヌーヴォー」の編集、執筆など、多岐にわたる。
- ・ 1965年8月27日、カップ・マルタンで海水浴中に死去（享年78歳）。



### 【ル・コルビュジエの趣味】

水泳、スキー、自転車、  
音楽鑑賞など



※1 石積み、レンガ積みによる西洋建築の伝統から脱却するもので、スラブ・柱、階段のみを主要要素とする造り。

※2 近代建築の5原則とは、①ピロティ、②屋上庭園、③自由な平面、④水平連続窓、⑤自由な立面

※3 人体の寸法と黄金比から作った建造物の基準寸法の数列である。その寸法は、人が立って片手を挙げた時の指先までの高さ 296cm (183cm × 1.618)とされる。

### 【トレードマーク】

丸眼鏡、蝶ネクタイ、パイプなど

